

標 題 東平原地区の西条柿生産者が大型共同利用防除機を初導入！

(ダイジェスト)

浜田市三隅町東平原地区では、スピードスプレーヤーを5名の生産者で購入し、西条柿の本格的な防除が始まる前である平成30年4月27日に、スピードスプレーヤーの機体構造や操作方法、注意事項についての研修会を開催しました。

浜田管内の西条柿生産者は平均年齢71.4歳と高齢化が進んでいることと、栽培園地が急傾斜な園が多く、作業性が悪いことが課題としてありました。特に作業の中でも、作業回数が多い防除は動力噴霧器による手散布での防除のため、労働性が悪い状況でした。そこで、三隅町の東平原地区は比較的傾斜地が少なく、緩やかなため、昨年度からスピードスプレーヤーの導入を検討してきました。

このたび、東平原営農組合で三隅町自治区の補助事業を活用して、スピードスプレーヤーを生産者5名で購入し、共同利用を行うこととなりました。栽培面積約4.5haをスピードスプレーヤーで防除を行い、東平原地区での防除受託作業も行う予定です。

当地区では初めてスピードスプレーヤーが導入されるにあたり、スピードスプレーヤーの機体説明、操作方法や注意事項について、やまびこジャパン株式会社の担当者呼び研修会を開催しました。研修会では、説明後に実際に農薬を溶かし、スピードスプレーヤーでの防除から清掃までの一連の流れの確認を行いました。

本機械の導入により、防除時間が従来よりも短縮されるとともに重労働から解放されます。当普及部としてもスピードスプレーヤーの操作方法や共同利用が適切でスムーズに管理運営できるように支援を行うとともに、この取り組みが他の地区へ波及していくように支援していくこととしています。



共同利用するスピードスプレーヤー



研修会の様子